

野村世界ESG株式 インデックスファンド (確定拠出年金向け)

追加型投信／内外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第17期(決算日2021年5月27日)

作成対象期間(2020年5月28日～2021年5月27日)

第17期末(2021年5月27日)	
基準価額	30,809円
純資産総額	584百万円
第17期	
騰落率	41.1%
分配金(税込み)合計	5円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、先進国ESG株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてFTSE4Good Developed 100 Indexに採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式に実質的に投資を行い、円換算したFTSE4Good Developed 100 Index(FTSE4Good Developed 100 Indexに日々の為替レートに乗じて得た指数)の動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年5月28日～2021年5月27日)



期首：21,842円

期末：30,809円 (既払分配金(税込み)：5円)

騰落率：41.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年5月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、円換算したFTSE4Good Developed 100 Indexです。詳細は4ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首(2020年5月27日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

2021年5月27日作成基準の運用報告書より、採用しているベンチマークについて、配当を含まない指数(以下「配当除く指数」)から配当を含む指数(以下「配当込み指数」)に変更させていただくことになりました。ファンドの運用では保有する資産から配当金を受け取るため、ベンチマークとして採用した「配当除く指数」とファンドの運用結果に配当相当分の差が生じておりました。こうした状況を踏まえ、「指数の動きをとらえる投資成果を目指す」というファンドの商品性に、より適した「配当込み指数」に変更することといたしました。なお運用の実態に即してベンチマークについて上記変更するものであり、ファンドの運用に影響はございません。

以上の変更を受けまして、前期までご報告した運用状況等のファンドとベンチマークの「騰落率」において、ファンドの方がベンチマークより高く表示される期間がありました。変更後(配当込み指数)では、同じ期間でもファンドの方がベンチマークよりも低く表示されている場合があります。

○基準価額の変動要因

新型コロナウイルスのワクチン実用化による経済正常化への期待や米国新政権による経済対策への期待が高まったことなどを受けて、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

(2020年5月28日～2021年5月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 67	% 0.264	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(34)	(0.132)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(25)	(0.099)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(8)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	3	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.013)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	4	0.016	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(4)	(0.016)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	17	0.068	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(16)	(0.064)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	91	0.362	
期中の平均基準価額は、25,523円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

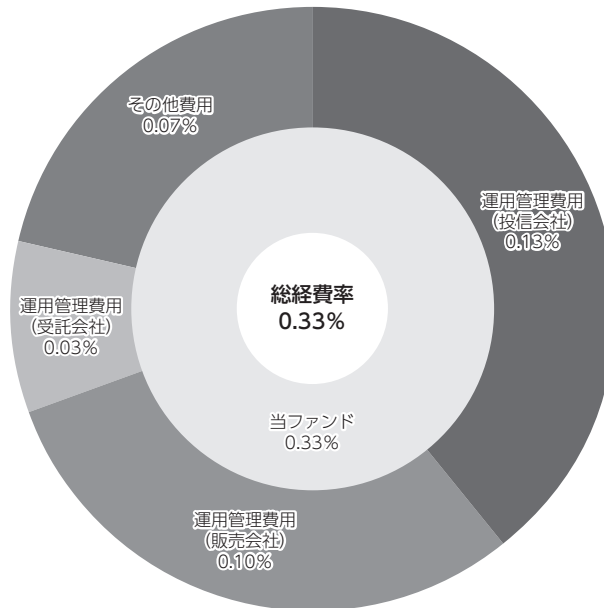
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.33%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

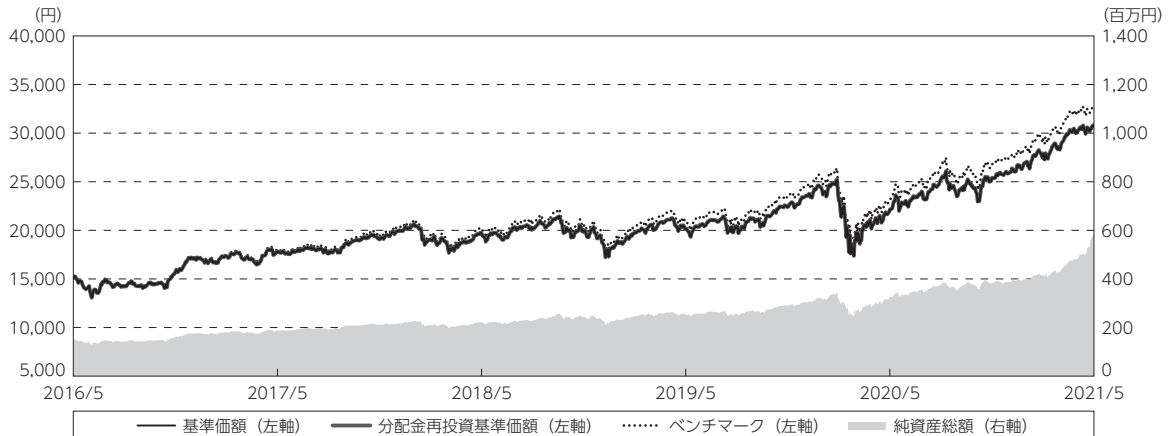
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年5月27日～2021年5月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2016年5月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、円換算したFTSE4Good Developed 100 Indexです。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、2016年5月27日の値が分配金再投資基準価額と同一となるように計算しております。

	2016年5月27日 決算日	2017年5月29日 決算日	2018年5月28日 決算日	2019年5月27日 決算日	2020年5月27日 決算日	2021年5月27日 決算日
基準価額 (円)	15,064	17,745	19,307	20,143	21,842	30,809
期間分配金合計(税込み) (円)	—	5	5	5	5	5
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.8	8.8	4.4	8.5	41.1
ベンチマーク騰落率 (%)	—	19.3	10.2	5.5	9.8	42.8
純資産総額 (百万円)	147	186	217	253	318	584

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

ベンチマーク(=円換算したFTSE4Good Developed 100 Index)は、FTSE4Good Developed 100 Indexをもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売相場仲値)で円換算しております。
※配当込みの指数とします。

投資環境

(2020年5月28日～2021年5月27日)

主要投資国の株式市場は、期首から新型コロナウイルス感染拡大によって停滞していた経済活動の再開が段階的に進んだことや、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景に上昇しました。2020年9月以降は、主要株価指数が史上最高値を更新したことで利益確定の動きが広がったとの見方や、欧米で新型コロナウイルス新規感染者数が急増したことなどから軟調に推移しましたが、11月に入ると、米大手製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの臨床試験による高い有効性を発表したことや、米大統領・議会選挙の結果を受けて再び上昇しました。その後も、新型コロナウイルスのワクチン実用化による経済正常化への期待や米国新政権による経済対策への期待が高まったこと、欧米の経済指標が市場予想を上回ったことなどをを受けて上昇しました。

為替市場は、期首から世界各国の経済活動再開への動きや新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などをを受けて主要通貨である米ドルは対円で上昇(円安)しましたが、2020年6月中旬以降は、FOMC(米連邦公開市場委員会)でゼロ金利政策の維持が表明され、米国の低金利が長期化するとの観測や、新型コロナウイルスの世界的な感染再拡大などが懸念される中、下落(円高)しました。2021年1月以降は、米長期金利が上昇し日米金利差の拡大が意識されたことや、米国で新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向が見られたことなどから上昇(円安)に転じましたが、4月以降は、米長期金利の上昇一服を背景に日米金利差の拡大観測が後退したことや、新興国を中心とする新型コロナウイルスの感染拡大などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどをを受けて下落(円高)基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年5月28日～2021年5月27日)

〔野村世界ESG株式インデックスファンド(確定拠出年金向け)〕

主要投資対象である[先進国ESG株式インデックスマザーファンド]受益証券に、期を通じてほぼ全額を投資しました。なお、為替ヘッジ(為替の売り予約)は行いませんでした。

〔先進国ESG株式インデックスマザーファンド〕**・株式組入比率**

引き続き「FTSE4Good Developed 100 Index」構成銘柄に投資し、株式組入比率は期を通じ高位に維持しました。

・期中の主な動き

「円換算したFTSE4Good Developed 100 Index^{*}」の動きをとらえるために、「FTSE4Good Developed 100 Index」を構成する全銘柄を投資対象とし、各銘柄への投資比率を「FTSE4Good Developed 100 Index」の中で各銘柄が占める比率にほぼ一致させました。「FTSE4Good Developed 100 Index」の変更(銘柄入れ替え、比率変更など)に対応して適宜ポートフォリオの見直しを行い、また期中の資金流入出に対しても速やかに対応しました。なお為替ヘッジ(為替の売り予約)は行いませんでした。

^{*}配当込みの指数とします。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年5月28日～2021年5月27日)

今期の基準価額の騰落率は+41.1%となり、ベンチマークである「円換算したFTSE4Good Developed 100 Index」の+42.8%を1.7ポイント下回りました。

主な差異要因は以下の通りです。

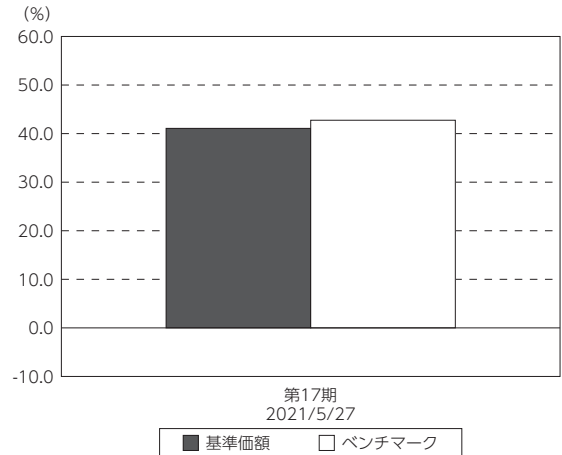
(マイナス要因)

- ①コスト負担 (当ファンドの信託報酬や、マザーファンドにおける売買コストや保管費用など)
- ②配当金に対する課税 (ファンドでは税引き後の配当金が計上される一方、ベンチマークは税引き前で計算されるため)

(その他、差異を生じた要因)

- ①為替の評価時価による差異 (ファンド評価に使用される為替レートとベンチマークの為替レートに時間差があり異なるため)
- ②国内株式の評価時価による差異 (ファンド評価に使用される価格とベンチマークの価格に日時差があり異なるため)

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、円換算したFTSE4Good Developed 100 Indexです。

分配金

(2020年5月28日～2021年5月27日)

収益分配金は、配当等収益などを勘案して決定させていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第17期	
	2020年5月28日～2021年5月27日	
当期分配金	5	
(対基準価額比率)	0.016%	
当期の収益	5	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	22,110	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[野村世界ESG株式インデックスファンド(確定拠出年金向け)]

主要投資対象である[先進国ESG株式インデックスマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、引き続き、「円換算したFTSE4Good Developed 100 Index」の中長期的な動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。

[先進国ESG株式インデックスマザーファンド]

引き続き「円換算したFTSE4Good Developed 100 Index」の中長期的な動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

野村世界ESG株式インデックスファンド(確定拠出年金向け)は、FTSE International Limited(以下「FTSE」)、ロンドン証券取引所(以下「取引所」)、(以下総称して「ライセンス供与者」と呼ぶ)のいずれによっても、後援、推薦、販売または販売促進されるものではありません。ライセンス供与者は、FTSE4Good Developed 100 Index(以下、本指数)の使用およびいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。本指数はFTSEにより編集、算出されます。ライセンス供与者は本指数の誤差脱漏について何人に対しても責任を負わず(過失の有無を問わず)、かつ本指数の誤差脱漏に関して通知する義務を負いません。FTSE®は、取引所の登録商標であり、ライセンスに基づいてFTSEが使用しています。

お知らせ

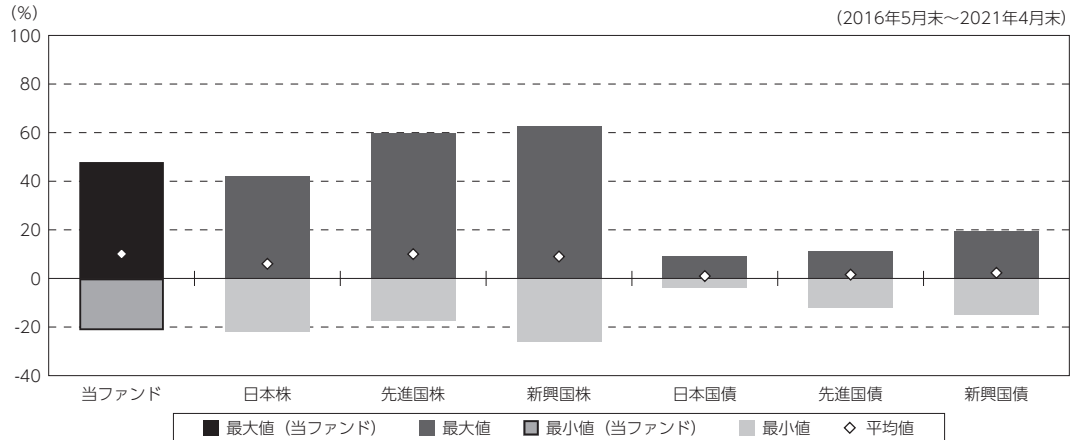
- ①ファンド名を以下のようにする所要の約款変更を行いました。
 (旧「野村グローバルSRI 100 マザーファンド」⇒新「先進国ESG株式インデックスマザーファンド」、
 旧「野村世界SRI(社会的責任投資)インデックスファンド(確定拠出年金向け)」⇒新「野村世界
 ESG株式インデックスファンド(確定拠出年金向け)」) <変更適用日:2021年2月25日>
- ②信託報酬率について、年0.880%(税抜年0.80%)から年0.264%(税抜年0.24%)へ引き下げる所要
 の約款変更を行いました。 <変更適用日:2021年2月25日>

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/株式/インデックス型	
信託期間	2004年7月30日以降、無期限とします。	
運用方針	先進国ESG株式インデックスマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、FTSE4Good Developed 100 Indexに採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式を実質的な主要投資対象とし、円換算したFTSE 4 Good Developed 100 Index (FTSE 4 Good Developed 100 Indexに日々の為替レートを乗じて得た指数)の動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。株式の実質組入れ比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入れ比率を一時的に引き下げる場合があります。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	野村世界ESG株式インデックスファンド(確定拠出年金向け)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。なお、株式に直接投資する場合もあります。
	マザーファンド	FTSE4Good Developed 100 Indexに採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてFTSE4Good Developed 100 Indexに採用されているまたは採用が決定された銘柄の株式に実質的に投資を行い、円換算したFTSE4Good Developed 100 Index (FTSE4Good Developed 100 Indexに日々の為替レートを乗じて得た指数)の動きをとらえる投資成果を目指して運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、配当等収益等を中心として分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.9	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 21.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 26.1	△ 4.0	△ 12.3	△ 15.0
平均値	10.1	6.0	10.0	9.0	1.0	1.6	2.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年5月から2021年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

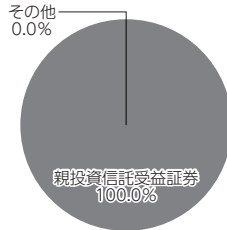
組入資産の内容

(2021年5月27日現在)

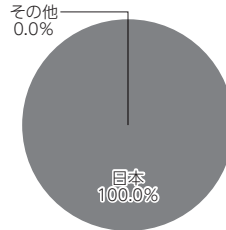
○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
先進国ESG株式インデックスマザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

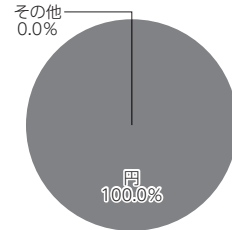
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第17期末
	2021年5月27日
純資産総額	584,690,657円
受益権総口数	189,776,357口
1万口当たり基準価額	30,809円

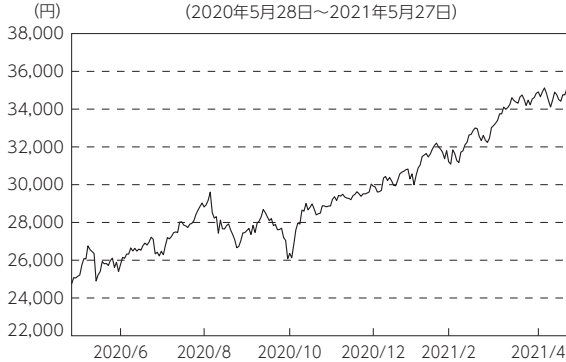
(注) 期中における追加設定元本額は81,781,601円、同解約元本額は37,852,847円です。

組入上位ファンドの概要

先進国 ESG 株式インデックスマザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年5月28日~2021年5月27日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式 証 券) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.014 (0.014) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式 証 券) (投 資 信 託 証 券)	5 (5) (0)	0.017 (0.017) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	19 (19) (0)	0.065 (0.065) (0.000)
合 計	28	0.096

期中の平均基準価額は、29,042円です。

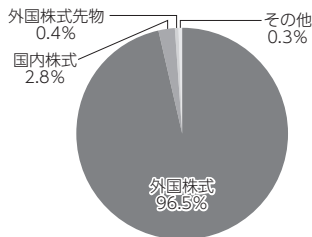
(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

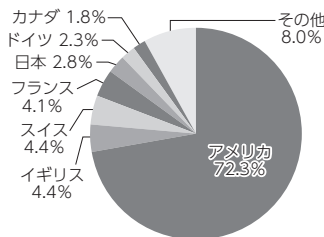
(2021年5月27日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア	米ドル	アメリカ	9.5%
2 APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	米ドル	アメリカ	8.9
3 ALPHABET INC-CL A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	3.6
4 ALPHABET INC-CL C	インタラクティブ・メディアおよびサービス	米ドル	アメリカ	3.6
5 JOHNSON & JOHNSON	医薬品	米ドル	アメリカ	2.3
6 VISA INC-CLASS A SHARES	情報技術サービス	米ドル	アメリカ	1.9
7 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	1.9
8 NESTLE SA-REG	食品	スイスフラン	スイス	1.8
9 HOME DEPOT	専門小売り	米ドル	アメリカ	1.7
10 PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品	米ドル	アメリカ	1.7
組入銘柄数			104銘柄	

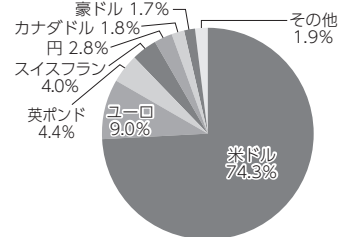
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社(以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受入、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)